

第二十回

武田の杜

薪能



狂言
二人大名
大藏教義

ふたりだいみょう

能
海士
佐久間二郎

令和8年 5月23日(土) 午後4時30分開演(午後3時30分開場)

■場 所 武田神社 甲陽武能殿 (能舞台)
山梨県甲府市古府中町2611

■入場料 正面・脇正面特別席 11,000円 (お土産付)
全席指定席 正面 席 8,000円
脇正面 席 7,000円
中正面 席 6,000円

◎学生割引あり 各席2,000円引き(特別席除く)
※小学生は保護者同伴に限る。(未就学児の入場は不可)
※中学生以上は、購入時・来場時に学生証提示要。

チケット発売:令和8年3月29日(日)~

お問い合わせ・お申し込み

武田の杜薪能実行委員会 TEL.055-252-2609

佐久間二郎 TEL.042-316-4860

メール takedanomori.takigino@gmail.com

■主催 武田の杜薪能実行委員会
■後援 山梨県・やまなし観光推進機構・甲府市観光協会・山梨県中小企業団体中央会・甲府商工会議所・山梨日日新聞社・山梨放送
テレビ山梨・エフエム富士・エフエム甲府・山梨新報社・読売新聞甲府支局・毎日新聞社甲府支局
■協力 観世九草会・武田神社・武田神社崇敬会 ■会場設営管理 長田組土木株式会社

【触れてみよう! 能・狂言の世界】

能「海士」と狂言「二人大名」の鑑賞ポイントを、出演の役者が分かりやすくご案内します。

ナビゲーター：佐久間二郎 (シテ)
野口 能弘 (ワキ)
大藏 教義 (狂言)
佃 良太郎 (大鼓)

清 祓

狂言 二人大名

シテ (大名) 大藏 教義
アド (大名) 大藏 康誠
アド (道通りの者) 大藏 基誠
後見 上田 圭輔

～休憩二十分～

火入れ式

能 海士

シテ (海士/龍女) 佐久間二郎
子方 (藤原房前) 小島 史織
ワキ (臣下) 野口 能弘
ワキツレ (従者) 吉田 祐一
アイ (浦の者) 上田 圭輔

笛 高村 裕
小鼓 鳥山 直也
大鼓 佃 良太郎
太鼓 大川 典良

後見 観世 喜之
奥川 恒治
桑田 貴志

地謡 観世 喜正
駒瀬 直也
中森 貫太
遠藤 喜久
鈴木 啓吾
小島 英明
中森健之介
奥川 恒成

午後7時頃 終演予定

演目紹介

『二人大名』 (ふたりだいみょう)

二人連れで都へ上ることになった大名は、供を連れていかなかったために通りがかった男に太刀を持たせる。初めのうちは恐縮していた男も、大名たちの傲慢な振る舞いに腹が立ち突如、渡された太刀で大名を脅す。やがて男は、怖がる大名たちから着物や刀を取り上げると、「鶏の蹴り合い」や「犬の噛み合い」、ついには「起き上がり小法師」の真似まで強要する。そのうち、段々と気分が乗ってきた大名たちが興じている隙に、男は取り上げた太刀や着物を持って逃げてしまう。

『海士』 (あま)

大臣・藤原房前(子方)は、亡き母の十三年を弔うため、讃州(香川県)志度の浦へと赴く。そこへ現れた一人の海士(シテ)は、過去にこの海の水底に沈んだ宝の珠を、この浦に住む一人の海士が単身で拾い上げたことを告げる。やがて一行は、その海士こそが房前の母親であったことを知る。驚愕の事実涙する房前に、海士は「玉取り」の様子を語ってみせる。わが子の出世を望み、己の命と引き換えに取り返した珠玉は、房前に揺ぎ無い栄華と一門の繁栄をもたらした。やがて自身こそがその母の亡霊であると告げた海士は、十三年の追善供養を願い海中に消える。そこで房前が母親の菩提を弔うと、法華経の功德により龍女成仏となった母の姿(後シテ)が現れ、喜びの舞を舞い消えていく。讃州志度寺の縁起譚と海女の珠取り伝説を基とし、我が子のために殉じた母の強い母性愛を主題としている。

甲府市生まれ。3歳で能面に興味を持ち、能楽師を志す。高卒後、観世喜之師に師事。

東京・山梨に「謡曲・仕舞」の稽古場を持ち、能楽の普及に努めている。

平成29年8月「こうふ開府500年カウントダウンイベント500日前」で武田神社能舞台にて祝賀の能を演ずるなど、県内での能楽活動も精力的に行っている。

(公社)観世九阜会所属。

重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。

山梨県立大学非常勤講師。



佐久間二郎 (さくまじろう)

■鑑賞にあたってのお客様へのお願い

○指定された席のみでの鑑賞となり、お席の移動はできません。○許可のないカメラ・スマートフォンなどによる撮影及び画像、動画の配信は全て禁止となります。○携帯電話・スマートフォンは電源をお切り頂くか、マナーモードなどで、着信音が鳴らないように設定をお願い致します。尚、上演中は、会場内での通話が一切禁止となります。○他のお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。

《お問い合わせ・お申し込み》 ※雨天決行：雨具は「雨合羽」のみ着用可(傘の使用不可)

武田の杜薪能実行委員会 TEL 055-252-2609
佐久間二郎 TEL 042-316-4860
メール takedanomori.takigino@gmail.com

《交通のご案内》

- ◆JR利用の場合 JR(中央線・身延線)甲府駅下車、北口よりバスもしくはタクシー利用で約10分。バスは、山梨交通「武田神社」行又は「積翠寺」行にご乗車ください。
- ◆自動車利用の場合 中央自動車道 甲府昭和ICより約20分。

駐車場が非常に少ないため、お車は乗り合わせにご協力ください。また、路線バスやタクシーのご利用もお願い申し上げます。

座席表

